

公益社団法人 愛知県理学療法士会

役員選挙

選挙公報



平成 29 年 1 月

公益社団法人 愛知県理学療法士会

選挙管理委員会

○ 選挙すべき役員名と定数

理 事：3名 以上 10名 以内

監 事：1名 又は 2名

○ 立候補受付期間：2016年11月25日～2017年1月3日

上記役員選挙において、候補者数が定数を超えませんでした。公益社団法人愛知県理学療法士会選挙に関する規程 17 項により、候補者全員が無投票当選となりました。よって、選挙はありません。

以下、結果と各候補者の立候補趣旨を掲載いたします。

公益社団法人 愛知県理学療法士会

役員選挙（理事） 結果

【理事（定数10名） 候補者：10名】

結果	氏名	所属
無投票当選	星野 茂	蒲郡市民病院 リハビリテーション科
無投票当選	都築 晃	藤田保健衛生大学 医療科学部 リハビリテーション学科
無投票当選	熊谷 泰臣	善常会リハビリテーション病院 リハビリテーション部
無投票当選	坂口 勇人	星城大学リハビリテーション学院 理学療法学科
無投票当選	三宅わか子	星城大学リハビリテーション学院 理学療法学科
無投票当選	鳥山 喜之	木村病院 リハビリテーション部
無投票当選	熊澤 輝人	名古屋市立西部医療センター リハビリテーション科
無投票当選	西山 知佐	名南病院 事務長室
無投票当選	山本 佳司	愛知県三河青い鳥医療療育センター リハビリテーション科
無投票当選	近藤 達也	東海医療専門学校 理学療法科

※ 届出順にて記載.

※ 年齢に関しましては、届出時点での年齢となっております.

氏 名 星野 茂
年 齢 53 歳
所 属 蒲郡市民病院 リハビリテーション科

【立候補の趣旨】

公益法人認可後3年を経過し、医療介護確保基金事業の委託事業及び補助金事業など公益活動も軌道に乗りつつあるが、事業計画・予算編成などを含め事務機能についてはまだまだ改善の余地が残されている。また、事業も会員教育を含めより公益性の高い事業を行っていくかをより検討する必要がある。

地域包括ケアシステムの推進が現在の最大の命題であるとおもいますが、その要となるのが地域（市区町村）における連携システムの構築と発展である。また、その根幹をなすのが会員所属施設の管理者ネットワークの構築にあると思われる。

次期の愛知県理学療法士会の課題は如何にネットワークを成熟させていくかにあると思われる。またその実行をサポートする事務局機能の強化、会員意識の変革を理事として実行したいと考える。

氏 名 都築 晃
年 齢 41 歳
所 属 藤田保健衛生大学 医療科学部 リハビリテーション学科

【立候補の趣旨】

私は、愛知県理学療法士会の理事として、「地域包括ケアシステム推進委員長」、「名古屋ブロック長」を務めさせて頂きました。また「日本理学療法士協会代議員、地域包括ケアコアコンピテンシー検討委員」を務めております。今後は、会員の資質向上、在宅・予防や健康増進・地域包括ケア分野への職域拡大、ブロック・施設所属長や市町村単位の療法士による地域連携、住民啓発、行政・医師会等関係団体と協力・交渉・補助金獲得などが問われます。

- ① 県士会「理事」「名古屋ブロック長」「地域包括ケア委員長」等の経験。
- ② 県健康福祉部からの県士会への補助金／委託金申請・受託と関連事業実施。
- ③ 県健康福祉部、市町村行政担当者、医師会ほか OT・ST 士会等各種団体との協力。
- ④ 地域包括ケア推進委員会による介護予防指導者育成研修と各市町村相談窓口設置。
上記実績により会員の皆様のお役に立てられるよう努力したいと思います。

氏 名 熊谷 泰臣
年 齢 56 歳
所 属 善常会リハビリテーション病院 リハビリテーション部

【立候補の趣旨】

このたび、理事に立候補致しました、熊谷泰臣です。平成27年度より理事、職能局長を拝命し、地域包括ケア委員会委員を兼任しました。この2年間は、職能局の事業と地域包括ケア推進委員会関係で、医療介護総合確保基金に関わる事業が主となり、毎月会議を重ね、皆様とともに事業を遂行してきました。明らかに時代は動いており、理学療法士会以外の団体も大きな変革の時期に来ていると感じました。また、さらに理学療法士だからできることを私たち自身で県民に訴える必要性を重く感じ、それが、私たちの職域を守り拡大することも体感しました。微力ながら、理事として尽力できればと思い立候補致しました。理事は私たちが選び、私たちのために活動する身近な存在であることを実践します。私たちのために投票していただきたいと思います。よろしくお願い致します。

氏 名 坂口 勇人
年 齢 55 歳
所 属 星城大学リハビリテーション学院 理学療法学科

【立候補の趣旨】

ここ数年の理学療法情勢を眺めると、医療費削減の影響を少なからず受け、より良い理学療法サービスの提供に従来ではなかった制約が出てきていると感じずにはいられません。このハードルを越えるためには、1つは学術・臨床の両面において創意工夫と研鑽を積むことで解決の糸口が見つかると思われます。もう一つは、行政への理解を求めることで道が開けると思われます。前者に対しては会員諸氏の弛まぬ姿勢を目の当たりにし皆さまにお任せすれば安心と感じておりますが、後者に対しては特定の者が担うしかないと感じ止めております。先の参議院選挙では会員の声を国政へ届ける議員を当選でき光明を得ることができました。この結果に満足することなく継続した行政への働きかけは士会としての課題です。この十年余り、本視点を常考し士会活動に携わって参りましたが、次年度以降においても理事の立場で携わりたく立候補いたしますのでご支援をお願い致します。

氏 名 三宅わか子
年 齢 51 歳
所 属 星城大学リハビリテーション学院 理学療法学科

【立候補の趣旨】

理学療法 50 年の歩みの中で女性理学療法士の社会進出が増加しましたが、若い会員を管理する世代は男性理学療法士の割合が多く、管理する側される側それぞれが、男女共同参画社会の持つ就労上の困難さを抱えています。女性のライフイベントによる休職や離職は、貴重な人材を一時的に失うことにつながり、様々な制約の中での復職には働き方の多様化が必要です。昨今の地域における予防理学療法への参入では、多くの理学療法士の働き方を駆使した活躍が期待され、中でも地域を支える人材として女性の働きが重要であると思います。男女共同参画とは男女が平等かつ対等であるのではなく、お互いの働き易さが担保され快く協働できることであると考えています。この度私は、愛知県理学療法士会の理事に立候補し、若い世代の皆さまが生涯を通じて活躍できる職場環境の整備と、地域で貢献できる場の確保に向けた支援をさせていただきたいと思います。

氏 名 鳥山 喜之
年 齢 60 歳
所 属 木村病院 リハビリテーション部

【立候補の趣旨】

公益社団法人の社会的存在として、最低限の法令遵守や社会的貢献といった責任を果たすだけでなく、住民や地域、社会の顕在的・潜在的な要請に応え、より高次の社会貢献や配慮、情報公開や交流を自主的に行わなければなりません。そのためには、事業目的を明確にし、健全で継続した法人の運営に心掛けなければなりません。当愛知県理学療法士会も職能団体また、社会に貢献できる団体として、県及び市町村に陳情、相談する団体ではなく、意見や助言を求められるような組織作りより一層発展することにより、医療・介護・福祉並びに予防における理学療法士の専門性を高めることを目標とし、理事に再度立候補することにいたしました。

氏 名 熊澤 輝人
年 齢 54 歳
所 属 名古屋市西部医療センター リハビリテーション科

【立候補の趣旨】

2016年4月に愛知県理学療法士会（以下県士会）は、愛知県より認可を受けて正式に公益社団法人として再出発しました。それから早いもので2年が経過し、県からの委託事業も年を追うごとに増えてきており、県士会全体の事業を見直す必要性も出てきました。

これまで会員の皆様には、ウェルフェアや風船バレーボール大会など多くの県士会事業に対してご協力をいただき感謝申し上げます。

私は老人福祉部長（健康福祉部長）、社会局長などを歴任（兼任）させていただき、理事においても平成5年から20年以上の長きにわたり務めさせていただいております。

この度、役員（理事）の選出にあたり、これまでの役員としての活動経験を生かして、今後も微力ながら県士会のさらなる発展に貢献・寄与することが出来ればと考え立候補を決意しました。

氏 名 西山 知佐
年 齢 45 歳
所 属 名南病院 事務長室

【立候補の趣旨】

私は平成27年の理事選に落選しましたが、白書委員長と災害対策委員長を拝命し、活動させていただきました。白書におきましては、会員の皆様のご協力を得ながら、昨年第3版を発行することができました。災害対策におきましては、県や関係団体等の支援をいただきながら、理学療法士の参加の場を広げつつあります。どちらの委員会事業を振り返りましても、理学療法士に対する期待が大きく、広く県民に対して活動することが求められていると実感しています。同時に時流に対応しながら、私たちの社会的地位を確保・向上させるためには、事業等を発展させることも必要です。そのために理事に復帰して、広く活動させていただきたいと思い、立候補いたしました。微力ではございますが、本会と会員の皆様、そして社会のために努力いたしますので、ご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

氏 名 山本 佳司
年 齢 53 歳
所 属 愛知県三河青い鳥医療療育センター リハビリテーション科

【立候補の趣旨】

小児分野において、平成24年に児童福祉法が改正され障害児支援の強化が進められています。専門施設や通所利用の障害児への支援だけでなく、地域の障害児・その家族を対象とした支援や保育所や学校等の施設に通う障害児に対し施設を訪問して支援するなど、地域支援に対応することが求められています。しかし、地域連携を行うために必要な知識と時間的なコスト面など課題であります。また、訪問看護ステーション等の事業所で、障害児支援を行う事業所が増え、子どもたちの生活や将来に向け、綿密に関りが持てるようになっていきます。地域の中でより良く暮らすことができる社会の担い手として理学療法士の役割が重要となってきます。地域における理学療法士の活動を支援し、地域社会の中で必要とされる理学療法士の育成にも取り組んで行かねばなりません。

愛知県の理学療法士が社会的責任を果たす団体として発展させていくために、理事に立候補いたしました。

氏 名 近藤 達也
年 齢 44 歳
所 属 東海医療専門学校 理学療法科

【立候補の趣旨】

この度、本会の理事に立候補致しました近藤達也と申します。私は、平成23年度より社会局広報部長として務めさせて頂いております。広報部は、理学療法士のことをより多くの県民の方々に知っていただくことと主にホームページの作成・管理、広報誌「ぴたっ!とあいち」の発行を行っております。その活動の中で、日々痛感していることは、まだまだ「リハビリテーション」に比べ、「理学療法士/理学療法」の認知度が低いことです。今後、理学療法士の専門性を充分に発揮することができると考えられる「地域包括ケアシステム」を推進していく上で、我々自身が社会に向けて自らの専門性をアピールする必要があると考えます。これからの日本を担う子どもたちから選ばれる職種になるための情報をわかりやすく発信していくことと、会員のみなさまの情報源となるシステム作りを推進したいと思い立候補させていただきました。皆様のご理解とご協力をお願いできれば幸いです。

公益社団法人 愛知県理学療法士会

役員選挙（監事） 結果

【監 事（定数 2 名） 候補者：1 名】

結果	氏 名	所 属
無投票当選	加藤 文之	名古屋学院大学 リハビリテーション学部 理学療法学科

※ 年齢に関しましては、届出時点での年齢となっております。

氏 名 加藤 文之
年 齢 59 歳
所 属 名古屋学院大学 リハビリテーション学部 理学療法学科

【立候補の趣旨】

私は長年、愛知県理学療法士会の事務局を担当し、前期では副代表理事として努めて参りました。愛知県士会が公益社団法人となり、より一層社会のために責任ある団体としての活動を行わなければなりません。また、行政からもより一層信頼される団体としての責務を痛感しております。このたびの役員改選にあたり、公益団体として責任を重く感じるとともに事業並びに会計等のより厳密なチェックが必要と考え、事務局経験を活かして監事として立候補させていただき所存です。

選挙に関する、新しい内容は

公益社団法人

愛知県理学療法士会のホームページ

www.aichi-pt.jp

でも確認できます。

選挙公報

平成 29 年 1 月

公益社団法人 愛知県理学療法士会
選挙管理委員会